第３回鳥取県トラック輸送における取引環境・労働時間改善協議会　議事概要

平成２８年３月１５日（火）
１３：３０～１５：３０
鳥取労働局　４階　大会議室

Ⅰ．開会

開会の挨拶

《中国運輸局自動車交通部長　山根代理委員》

○トラックドライバーの労働条件を改善していくためには、長時間労働の改善と適正運賃の収受が不可欠。本日の協議会では、昨年の秋に実施した実態調査の結果を基に、具体的かつ地域実態に即した労働時間抑制対策等を検討し、来年度以降予定しているパイロット事業に繋げて頂きたい。

○実態調査や協議会で浮き彫りになった課題について、トラック事業者、発荷主・着荷主の３者それぞれが共有し改善して行くことで、お互いの生産性向上に繋げていくことが出来る。

○厳しい環境であるトラック業界の健全化・活性化を図り、安全・安心でより質の高い輸送サービスの実現のためにも、本協議会で具体的な成果が出せるようしっかりと取り組んで参りたい。

○各委員の皆様方からご意見等を賜り、改善に向けて今後の取り組みにつなげていきたいと考えている。

Ⅱ．議題

１．トラック輸送状況の実態調査結果について

（１）　（全体版）結果概要について

（２）　（鳥取県版）結果概要について

会議資料により説明（鳥取運輸支局・鳥取県トラック協会）　－省略－

２．パイロット事業（実証実験）について

会議資料により説明（鳥取労働局）　－省略－

《八幡運輸　八幡委員》

○様々な課題の解決に向けて、陸送業者と荷主企業の当事者間で努力していくのも大切であるが、それでも解決できない問題については、トラック協会や経済団体等の上部団体にも情報発信し、働きかけを行っていけるような環境を作っていくのも一つの方法である。

《交運労協　山崎委員》

○鳥取県内の荷役、付帯作業の発生状況について、全国版と比較してフォークリフト荷役に係る拘束時間の比率が高い。一般的には、手作業よりも荷役機械を使った方が作業時間も短いはずであるが、どういった理由なのか？

→　（事務局）現在のところ具体的な資料を持ち合わせていないため、この場では回答できない。今後、中央からの資料提供等で要因が判明すれば回答させて頂きたい。

《座長　柗見委員》

○資料によると荷役作業について、事前連絡無しに、現場で依頼されることも多いようであるが、実態はどうなのか？

《八幡運輸　八幡委員》

○過剰サービスかもしれないが、これまで陸送業者も荷主企業もそれが当たり前になっていた。こういった机上の資料と現場での認識差を埋めることも今後大切になってくる。

《座長　柗見委員》

○書面によらない付帯作業が多く発生している。また、荷役、付帯作業が全国に比べて長いということも踏まえて、今後のパイロット事業を実施するうえでの着眼点としたい。

○来年度から取り組むパイロット事業の荷主及び運送事業者の選定に当たっては、事務局へ一任することを各委員の皆様へ諮りたいと思いますがいかがでしょうか。

→　承認

３．トラック事業に関する事業規制の推移について

会議資料により説明（鳥取運輸支局）　－省略－

４．協議会の今後の進め方について

会議資料により説明（鳥取運輸支局）　－省略－

《八幡運輸　八幡委員》

○これまで荷主企業に対して運賃料金の値上げ交渉を行ってきた結果、値上げに応じて頂ける荷主もあった。単に燃料価格が高騰したから値上げして欲しいという理由だけでは、荷主は理解してくれない。継続的な取引を行っていくためにもお互いに歩み寄ることも重要。

《交運労協　山崎委員》

○取引環境の改善に当たっては、書面契約の推進が大切。本取り組みは、荷主と業者だけでは１００％は無理。書面化制度の義務付けが必要ではないか。

○運賃制度について、貸切バス業界は一昨年から、運賃制度が改正された。トラック業界においても標準運賃の制度が必要。そうでなければ、荷主との力関係は改善できないし、労働者の賃上げや長時間労働の抑制にも繋がらない。

《トミタ電機　神谷委員》

○燃料サーチャージ制度について、燃料価格が高騰すれば値上げをするが、逆に価格が下がったときには運賃を値下げしてくれる補償があればいいがそうではない。運賃は当事者間の合意でやっていきたい。

○拘束時間の短縮のため、運送業者においても高速道路の割引制度をうまく利用しているところもあり、本来、経済合理性の判断でやること。荷主側としては、早くて安全に製品が届けばいい。両者で話し合って解決出来ることもあることから協力的に取り組んでいきたい。

《山陰運送　竹内委員》

○燃料価格は下落傾向であるが、当社としては元々運賃水準が高くない。そのため、燃料価格の高騰時などに時機を捉えて、価格交渉を行っている。

５．その他

今後の協議会開催予定等について事務局より説明　－省略－

《座長　柗見委員》

○本日のまとめとして、県内のトラック業界は、全国と比べてもドライバーの高齢化が進んでいることが調査結果に示されていた。若手を確保するためにも手厚い給与が必要であり、魅力有る環境を整えていくことが大切。そのためにも適正価格運賃の収受が重要ではないか。

○陸送業者が置かれている状況に理解を示している荷主もあり、様々な課題解決に向けやはり、お互いのコミュニケーションを密にすることが大切。

○今後のパイロット事業等の取り組みを通して、各種課題への解決策に反映できればといいと願っている。

Ⅲ．閉会